別記様式

議　　事　　録

会議の名称	令和４年度第３回岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会
開催日時	令和５年２月２８日（火）午後２時00分から午後３時30分まで
開催場所	岩倉市生涯学習センター　研修室２
出席者 (欠席委員・説明者)	汲田委員長、嶋副委員長、平松委員、伊藤委員、犬飼委員、鈴木委員、山田委員、高桑委員、中村委員、柴田委員、小林委員、宮田委員 欠席委員：日比野委員 説明者：長寿介護課長、長寿福祉グループ長、介護保険グループ長、同担当、岩倉市地域包括支援センター、株式会社エディケーション
会議の議題	（１）副委員長の選出について （２）岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート等の概要について （３）地域包括支援センターの事業評価について （４）地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施方針について （５）地域ケア会議の運営方針の検討経過について （６）介護給付適正化事業の進捗について （７）生活支援体制整備事業について
議事録の作成方法	■要点筆記　　□全文記録　　□その他
記載内容の確認方法	■会議の委員長の確認を得ている □出席した委員全員の確認を得ている □その他（　　）
会議に提出された資料の名称	・岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会委員名簿（資料１-１） ・岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会条例（資料１-２） ・令和４年度岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート結果の要点（資料２-１） ・令和４年度岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート結果報告書（速報版）（資料２-２） ・令和４年度岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート結果報告書（速報版）～基本属性について～（追加資料） ・地域包括支援センターの事業評価について（資料３） ・岩倉市の地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施方針（資料４） ・地域ケア会議の運営方針の検討経過について（資料５） ・介護給付費適正化事業の進捗について（資料６）

	・令和４年度岩倉市生活支援コーディネーター事業　進捗状況について（資料７）
公開・非公開の別	■公開　　□非公開
傍聴者数	０人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

事務局から事務連絡

事務局　会議に入ります前に、委員の交代についてご報告させていただきます。民生委員児童委員協議会代表として、河村妙子様に代わりまして、新たに嶋保様が就任されましたのでどうぞよろしくお願いします。

委員　こんにちは。昨年 12 月から民生委員児童委員協議会の会長を背負うことになりました。なにぶん経験が浅いですので、これから勉強しながらやっていきたいと思います。よろしくお願いします。

１　あいさつ

委員長　皆さまこんにちは。今年度最後、今年はじめての委員会でございます。新たに嶋委員をお迎えして、会議をはじめたいと思いますが、本日は議題がすごく多くあり、資料も多くなっています。聞こえないことがありましたら「聞こえません」と言っていただけたら、皆さん大きな声で発言していただけたらと思います。速やかな議事進行にご協力ください。よろしくお願いします。

２　議事

議題（１）副委員長の選出について

資料１-１、資料１-２に基づいて事務局より説明

委員長　ご説明いただきましたように、第６条に、副委員長の選出は条例上、委員の互選によりこれを定める、とありますが、事務局の方からご提案をいただけるようなので、皆さま、事務局のご提案を聞いていただいてよろしいでしょうか。

＜異議なし＞

委員長　では、お願いします。

事務局　事務局の提案といたしまして、副委員長に民生委員児童委員協議会代表の嶋保様にお願いしてはどうかと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員長　事務局から嶋委員に副委員長をお願いしてはどうかというご提案がございました。いかがでしょうか。承認される方は挙手をお願いします。

＜一同挙手＞

委員長　ありがとうございます。承認されました。それでは、嶋委員に副委員長をお願いしたいと思います。

事務局　事務局案を承認いただきありがとうございます。それでは、嶋委員につきましては副委員長席にご移動いただきますので、よろしくお願いします。

＜嶋委員は副委員長席に移動＞

委員　先ほども申し上げましたが、非常に不勉強でして、これから皆さんに教えていただきながら、勉強していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

議題（２）岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート等の概要について

資料２-１、資料２-２、追加資料に基づいて事務局より説明

委員長　ありがとうございました。今の説明について、質疑はありますでしょうか。

委員　45 頁の介護保険サービスを利用していない方の理由をお聞きしたときに、「現状ではサービスを利用するほどの状態ではない」が高いのはよくわかります。ところが、第８期と第９期で２倍くらい高くなっている「その他」というのが気になったのですが、「その他」として、欄外に書かれたものがあれば教えていただきたいです。

事務局　拾っていますが、今はまとめていないので次回お知らせします。

委員　詳細なアンケートを集計されるのは大変だと思うのですが、アンケートを踏まえまして、具体的にどのように事業、サービスを展開するのかというお考えがあれば。例えば、このアンケートの結果に基づいて、来年考えて、次の年度くらいから新規事業を立ち上げるなどのお考えはありますでしょうか。これだけ膨大ですので、ど

こに重点を置くかは精査して、ポイントを見極められたところで、新規の事業をはじめるなど。

事務局　この調査を基にして、どういったところにニーズがあるかなどを把握するための調査なので、これを精査して、次の事業につなげていきます。

事務局　少し補足しますと、全体を通じてみますと、一人暮らしの世帯、夫婦世帯が明らかに増えてきているので、当然そこをしっかり支援していかないといけない。やはり支える方がいないと、施設に行く流れになってしまいます。別に施設が悪いとかではないですが、できる限り在宅介護の可能性を高めていくのが介護保険の趣旨ですので。今後の計画期間は、団塊の世代の人たちが後期高齢者になっていくところなので、そのあたりも考えながら施策を考えていかなければならないと思います。

委員　保健所も、今回のコロナの関係で患者さんのお宅に電話することが多いときに、やはりご高齢の夫婦２人で暮らしていらっしゃる方が結構いらっしゃり、一人がコロナになってしまって、もう一人の方がどうしよう、という感じで、一生懸命やっていらっしゃるところを見ました。保健所としてはそれ以上何もできませんので、なんとかならないかな、とか。あとは、車を運転できる方もいらっしゃるけれど、コロナに罹って車の運転もできないから、医者にも行けないけどどうしたいいかという相談を受ける中で、もう少し手厚くできたらよかったというのが反省としてあります。

委員長　感じたことですが、一般高齢者の移動手段は徒歩ですが、コロナで外出は控えている。近所づきあいは減っているけれど、近所づきあいや友だちとのつきあいに生きがいを感じていると回答されている。さらに、介護予防事業に「参加したくない」は 32.9%いる。どうやってこの方の介護予防をしていくのかはすごく難しいと思います。一般高齢者の結果を見て、近所づきあいはないけれど、徒歩で出掛けるところに、私たちはどのように資源をつくれるのかということも含めて、すごく大事なデータだと見させていただきました。加えて、自分の病気や健康状態に不安があるという人が 63.4%です。そういう不安はあるけれど、外出は控えて、介護予防にも行く気がないという方を支えていく地域をどうやってつくれるかというのが気になりました。あと、在宅生活をずっとしていきたいけれど、現実問題、訪問介護の確保が難しいという、ニーズとサービスのマッチングがうまくいっていないという事実もかなり明らかになっているかと思いましたので、そのあたりも必要かと思いました。膨大なデータですので、これだけで１日眺められるくらいあると思いますけれど、また自由記述の分析、「その他」も次回教えていただけるということですので、引き続き、結果を見ていきたいと思いました。ありがとうございました。

議題（３）地域包括支援センターの事業評価について

資料３に基づいて事務局より説明

委員長　ありがとうございました。ただいまの事業評価についての説明で、ご質問はございますでしょうか。

委員　正直申し上げて、資料３と業務チェックシートのつながりが正直よくわからないです。まず、業務チェックシートは資料３の「２評価指標及び評価結果」の表とリンクしているのでしょうか。教えていただきたいです。

事務局　資料３の参考をご覧いただくと、センター指標の横に「該当するものに〇」として、順番に設問があります。裏面までいくと 19 項目ありますが、そうすると、指標の項目数が 19 項目、該当するものに〇をした数が 15 項目あり、78.9%です。その横に全国の調査結果の全国平均ということで、資料３の２にも全国平均が 89.6%とありますが、こちらがリンクしております。

委員　チェックシートは全国共通なのでしょうか。

事務局　そうです。国が作成している全国共通の評価シートを活用しております。

委員　地域ケア会議のところが、前年に比べて随分低いです。0 項目、0%です。

事務局　ここは、後ほど説明させていただきます資料５にありますが、地域ケア会議の運営方針を、現在愛知県からのアドバイザーにご依頼しておりまして、スケジュールを設けて検討中です。そのため、すべての回答を×にしています。まったく対応していないわけではないですが、検討したうえで行うということで、ここの指標のチェック欄を一旦検討中ということで×にしています。

委員　包括支援センターの方で、チェックができていないことで、これはやっていかないといけないと思う項目などはあるのでしょうか。

事務局　地域包括支援センターの職員でございます。質問のお答えを想定していませんでしたので、これが、というものはないですが、基本的にはこれをすべて満たすことが究極の目標です。これを満たすことが最低条件になり得るとは思いますので、どれがというものではなく、すべてを満たせるように進まなければいけないと思います。

委員　全部やるのは理想だとは思うのですが、やはり現実的にそれは難しいと思います。

ただ、岩倉市の中でこういうことは有効だから、地域包括支援センターとしては、これはクリアした方がいいのではないか、という優先順位をつけて取り組まないと、最終的に 100 点には届かないと思うので、この中でこれをやっていくことが有効性としては高いのではないか、役割としては必要なのではないかと思うことはなにか。せっかく評価するわけですから。これはできている、できていない。できていないところはよくする、できているところは継続していくということを考えていったときに、できていないところで、特にここは地域のためにも役立つからやっていくといいよね等の話し合いをするための指標だと思うので、そういった話し合いをされて、ここをやっていこうか、来年に向けて取り組もうかというような項目があると評価する意味もあると思うのですが。

事務局　そういうことでしたら、先ほどご指摘がありました地域ケア会議が、今回は０になっていますが、前までの評価をもとにして、指導、協議をして、県からもアドバイザーに来ていただいて、まさしく市内で必要として、検討されているところですので、まずは地域ケア会議に関して充実させることが最優先かと思っています。

事務局　他にもそういった指標を用いた事業評価はあるのですが、やはり、全国との比較において、他所ではこんなにできているのに、うちはできていない、という気づきにもつながります。できているところは、どういったやり方をしているのか、という比較にもなります。市の中だけで考えるのではなく、他所からの情報を得て刺激を受けるという面もあるのかと思います。

委員　正直私から見て、こういうことはやってくれているのにな、と思っても×が打ってあるようなこともあるので、自分に厳しくつけてみえるとも思っています。

議題（４）地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施方針について

議題（５）地域ケア会議の運営方針の検討経過について

委員長　議題（４）議題（５）は関連性がありますので、一体的に説明していただきたいと思います。よろしくお願いします。

資料４、資料５に基づいて事務局より説明

委員長　ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問はございますでしょうか。
確認しますが、今年度、地域ケア個別会議の開催方法の検討をされて、令和５年度、地域課題会議の運営方法に進んでいくというところでよろしいでしょうか。

事務局　はい。

委員　今説明をしていただいた地域ケア会議について、令和４年にアドバイザーの派遣を受けて、何回か個別会議を開いていらっしゃると思うのですが、チェックシートに戻ると、実績が０になっているのは、ここでやった活動はチェック項目にはあたらないということでしょうか。資料３で地域ケア会議の９項目のうち、今回は該当が０項目になっていて、内訳を見せていただくと、地域ケア会議については、「地域ケア会議において、個別事例について検討している」が×になっていますが、今の説明ではやっていらっしゃるように見えますが、違うのでしょうか。

事務局　こちらのチェックシートは令和３年度で、今、困難ケースとかいろいろな会議はしているのですが、岩倉市の地域ケア会議というような、運営方針を定めて、こういったやり方でやるということを確定はしていないものですから、地域包括支援センターとしては、そこに該当するものにはチェックを入れていないということだと思います。

委員　チェックシートの時点とはずれているということですね。令和３年度の内容を評価しているということですね。

事務局　令和４年度の途中ですので。次回のときには、令和４年度の評価をします。そのときに、同じような設問があればあがってくるとは思います。

委員長　そのときには、今年度実施している７回分のことは評価されるのでしょうか。
それとも、これは検討だから評価されないということでしょうか。

事務局　そこの部分については、調査票の設問を確認させていただきたいと思います。

委員長　時系列的には、令和３年度の業務をチェックしたけれど、そのときはまだ地域ケア会議という形を岩倉市は検討していなかったこともあって、回答していなかった。個別の事例はやっていたけれど、地域ケア会議かと言われたら、そういう形態ではなかったかもしれないということで、つけていない。それを踏まえて、立ち上げて、今年度７回検討されているという時系列ですね。

委員　資料３において、「前年度」と記載して７項目該当、「令和４年度」の事業評価が０項目になっているのは、わかりにくいです。事業年度が前年度であることもあり、「前年度」が令和３年度なのか令和２年度なのか。

事務局　おっしゃるように「前年度」は紛らわしい表現だと思います。

委員　何年度のものか書いていただけるとわかりやすいです。僕らのように毎年区長が代わるとわからないので。

委員長　議題（４）について、支援事業の実施方針について【承認事項】になっていると思います。この資料４を見ていただきまして、岩倉市の地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施方針について、ご承認をいただける方は挙手をお願いします。

＜一同挙手＞

委員長　ありがとうございます。

議題（６）介護給付適正化事業の進捗について

資料６に基づいて事務局より説明

委員長　ありがとうございました。ただいまの介護給付適正化事業の進捗についてご質問はありますでしょうか。

委員　質問ではないですが、認定調査状況について、認定審査会の委員をやらせていただいていますが、岩倉市は本当にしっかり調査やっていただいていると認識していますし、他の市町村に比べて、圧倒的に市の職員さんがやっていることが多くて、委託したものに関してもかなりしっかりチェックされているので、非常にやりやすく、しっかりやっていただいているという認識です。

委員長　先ほど、現地に行かれて、住宅改修を見られた件数が１件ありましたということですが、その流れで、福祉用具はなかったということです。「医療情報との突合で疑義がある場合」とあるのですが、例えば、そういうケースはあったのでしょうか。

事務局　件数は覚えていないのですが、ある場合がありまして、入院している場合など、医療保険を使っている期間なのに介護保険を使っているようなことがあると、それはおかしくないか、という形で確認したようなことはありました。

委員　チェックした件数が 100％とありますが、金額が違ったり、重複とかの結果をこの場で報告する必要はないのでしょうか。100％やりました、とだけですが。

事務局　現状、そこまでの報告は考えていません。

委員　　しなくてもよいのでしょうか。あえてやっていないのでしょうか。

事務局　前々からこういった報告はさせていただいていまして、従来通りの報告の形にはなっているかと思います。

委員　　変える予定はありませんか。

事務局　今のところはそのような認識ですが、そういったご意見があれば、資料として出せるものがあれば。ご意見として承ります。

委員　　最終的には、適正な給付額を抑えるために調査している結果が表に出ないのですか。一応こういう委員会だから出るとよいと思います。

事務局　給付額の抑制ということではなく、適正化が目的ではありますが、検討させていただきます。

委員長　今ご意見いただいたことについて、ご検討いただきたいと思います。

議題（７）生活支援体制整備事業について

資料７に基づいて事務局より説明

委員長　ありがとうございます。ただいまの説明についてご質問はございますでしょうか。

委員　　生活支援サービスの議題で、そういう方の支援は必要だと思うのですが、担い手の養成と書いてありますが、例えば、どういう場でどのようにやっているのでしょうか。

事務局　担い手養成の機会をつくるということで、いきいき介護サポーターはコロナの状況で25名の登録があるのですが、そういったボランティアさんにご協力をいただくことですとか、今、サロンが市内に19か所とかなり数が増えていますので、サロンで活動されている方にお集まりいただき、ご意見をいただいて、そういった活動の中から要望を拾いあげてどういったことができるかとか、生活支援コーディネーターさんがいろいろなところから情報収集をしているところでして、具体的な養成をこのようにしますという施策ができていない状況ではありま

す。シルバー人材センターさんも今、登録はあるのですが、なかなか買い物の支援だったり、サービスの支援、マッチングが難しい状況にあります。それを踏まえて、今後どのようにしていくかはまだ模索している状況です。

委員　いきいき介護サポーターさんの制度というのは、なかなか活動しにくい状況がここ何年かありましたが、以前からあるものを利用して、これからいきいきサポーターに登録していただくきっかけとすることなどが養成ということでしょうか。それとも、新たにつくるのでしょうか。

事務局　そこのところの方向性もまだ検討段階ですので、どのように組み立てていくかは今後の課題となっています。

委員　前回、広報でも募集したと言っていたと思うのですが。

事務局　いきいき介護サポーター養成ということで、広報でも募集しておりますし、毎月、新たに 65 歳になられる方のところへ、いきいき介護サポーターに登録してください、という内容のチラシは同封しております。あとは、老人クラブの幹部会や会長会でも配布したり、いろいろなところで周知に努めているところですが、まだコロナの状況もあるものですから、なかなか施設等へうかがって、ボランティア活動をすることが難しいことがありますので、今のところ、そこのところの担い手の養成は課題となっています。

委員　こういう支援がほしいという立場の人とこんなことをやってみたいという方が集まって、私はこんなことをやってほしいとか、やりたいという方がマッチングする場とか、そういうものがあった方が動いていくのかと思ったりします。よく認知症サポーターの皆さんはステップアップ講座をやられる中で、私はこういうことやってみたい、ああいうことやってみたいけれど、動けないということがある。あとは、認知症当事者の方で、今こういうことをしてみたいと思っているんだけど、というところに、私が行ってやるわよ、できるわよ、というような場づくりが事業で計画されているのかな、ということが頭の中に浮かびました。場違いな質問だったかもしれませんが。

委員　コーディネーターさんの感覚として私が受け取ったのは、例えば、ホームヘルパーを使うまでもないけれど買い物をしてもらえるような人たちを養成したいと思っているけれど、そういう人たちがいないという認識です。そういう人たちがいないから、どういったところで呼びかけているの、という話で、広報で募集したりしている。

委員　言われる立場からすると、自分のやりたいこととは違うと感じる。

委員　買いものをお願いしたい、そういうのを受けて、ボランティアだけど少しお金がもらえる。そういう元気な高齢者の人たちが活躍できるようなところと、ちょっと手助けしてほしい人とがくっつくことを探しているという感覚なんだけど、なかなかそういう人がいない。シルバー人材でもいないという話ですよね。だから、いるような気がするけれど、それを掘り起こすために、どういったところにどう声をかけるか。

委員　ボランティア連絡協議会で31団体がみえて、年に1回の代表者会議があるのですが、そういった会議の場で、コロナの中で、対面ができなくなりましたと。やっていることとしては、草むしりやちょっとした掃除、ゴミ出しをやっていますという言葉は言われたのですが、全体が高齢化しているものだから、自分が代表でやっているけれど、もしかしたら自分に何かあったときにはなくなってしまうのかな、という話を言っていました。人数が減っているのは皆悩みの種です。

委員　サロンに来てくれる人は元気な人たちで、頑張って外に出ていこうという気持ちのある人たちで、それを他人のためにちょっと使うということと、どうマッチさせるのかというところで悩んでいる。そういう人たちを掘り起こす、ちょっとくらい人のために頑張って買い物に行こうかなという人たちはまだまだいるとは思うので、そこをどう集めて、どうマッチさせるかというのが、生活支援コーディネーターさんの役割かと思いますが、なかなか難しい。それを、老人クラブやボランティアさんの意見をうまく取り入れてなにかつくれるといいです。

委員長　私は中川区の地域福祉活動計画の策定委員長をやっているのですが、65歳以上の定年を迎える方々に全戸配布をして、セカンドステージセミナーというものをやっています。地域のために何かしませんかということを、65歳になる年に、全員に送るということをやっているのですが、地域のために何かしたいけれど、どうやってやったらいいのかわからない。どこに何を言ったら自分はそういうことをさせてもらえるのかという手がかりがないという人が結構いらっしゃる。やりたくないわけではない、そういう方々が地域に眠っていらっしゃる。やりたい人たちが眠っているので、そこに、どうやってアプローチをするかがすごく大事。どうすればその人たちが食いつくのかというところが今課題。どこの地区でもそうですが。先ほど言われたように、買いものに行くとか、薬をとってきてほしいとか、介護保険では対応できないところが生活していくうえではたくさんあって、なんとなく地域で支え合っていって、隣の人がすごくいい人で、助け合えてたというようなところは、しくみじゃないと無理になってきているのが今の現代社会だと思うので、生活支援コーディネーターはまさに、そこをどのようにしくみづくりをするかが非常に大事だと思っています。とはいっても、ここの会議で何か決まるわけではないですが、その着眼点は非常に大事だし、生活支援コーディネ

ーターさんが担う役割というのは非常に大きいのかと思います。私からは、「２生活支援等サービスの提供に係る関係者間の連携の体制づくり」の（３）の協議体については何も記載されていませんが、これは岩倉市さんではどうされる予定ですか。

事務局　重層的支援体制整備事業で、第１層、第２層とかいろいろありますが、地域全体で協議体について、ご意見をいただきながら整備していくというところで、今はまだ具体的には決まってはおりませんが、協議の途中です。

３　その他

事務局　来年度の策定委員会の開催日程について、来年度は計画策定年度になりますので、今年度は３回でしたが、来年度は６回程度を予定しています。初回は６月下旬で検討しており、またご連絡しますのでよろしくお願いします。

委員長　本日の議題７つがすべて終了いたしました。長時間にわたりありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しいたします。

事務局　本日は長時間にわたり、慎重なご審議をいただきありがとうございました。これをもちまして。第３回岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。